

# 市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成24年4月20日（金）午後6時30分～9時30分  
【会 場】北の峰コミュニティセンター  
【対象地域】北の峰町、学田三区、御料地区  
【出席者】70人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
経済部・ 保健福祉部	<p>幼保一体化。国でももめている問題があると思うんですけど、市長はどう捉えているのか。また、今ご説明いただいた中では、一方的にまちなかに作りたいという説明。こども未来課の従事している先生たちなどで実行委員会を立ち上げて反対意見を出しているようです。その資料を見ると、やはりあの場所（中心市街地）では無理なのかなと。議会でも全会一致でいったん白紙に戻したということだが、それについて今後どう対応するのか。観光時期に外国人が運転する車も多く、一時停止の事故が多いので、どこまで捉えているのか聞きたいです。</p>	<p>【市長】幼保一体化の関係については民主党政権の中で、閣議決定されて国会に法案が出ています。この法案が通った時点で、それに従って実施しなければならないというのが私の考え方です。</p> <p>議会でいったん白紙に戻した状況については、恐らく請願が出てきた中で、交通の問題、敷地が狭い、環境が悪いなどの大きな課題に対する請願だったと思います。その内容については、議会運営委員会で議論もされて採択されたと感じています。その採択を受けた中で予算もともなっていますので、この予算については全員賛成をしたという経緯です。採択して予算を通したという矛盾的なものもありますが、市民の意見を十分聞いてくださいとの代表質問、一般質問がありました。その答弁において、それぞれの市民の意見を聞きながら、最終的に総合的な判断で決めざるを得ないというのが経緯であります。</p> <p>交通事故の問題ですが、今ある中央保育所を見てください。あの住宅街の狭い道路に、朝と夕方に車がたくさん出入りし、周辺住民から交通の問題については言われています。そんな状況でも、運転される方が注意していますので事故は少ないです。東3条通の住民の方に聞くと、車の通りは少ないとの懇談会での意見が多かったと思います。交通の問題については、もしそういう状況であれば、公安委員会と話をし、信号機を設置する状況ができれば対応していきたいと思います。観光バスが入ってくる国道38号線と東5条通の交差点については、国で道路整備をする予</p>

経済部・  
保健福祉部

(内部資料について) 保育士さんたちは専門家ですよね。これだけの基準に合った施設が欲しいとか、今言った交通の問題だとか書かれていて、(これらは) 実行委員会を作って正式にやっているんですよ。それをどこで訂正したかは知らないですけど、市長はおそらく見ていると思うんですよ。それは全員には配ってないですよ。僕がもらっただけですから。中身について一通り全部読ませてもらったら、ただ単純にあの場所(中心市街地)に設置するんじゃないかと、もう少しやっぱり今市民と関係者、子ども

定です。東5条通から南4丁目を通過して、本通から市役所駐車場に停めることになっています。バスについては、この徹底をしていきたいと考えています。父母が送り迎えで通るのは、南3丁目から敷地内通路(現在の東4条通り)に入っていきますので、敷地内通路については他の車は入ることができない状況を作るということです。

狭いという問題ですが、床面積は1,770㎡ありますので、とても広いと思います。今の保育所は中央が655㎡で麻町が683㎡です。0歳から2歳は、1階に部屋を設けます。3歳から5歳については2階に部屋を設けて、プールのものも1階と2階に設けます。園庭が狭いということについては、約800㎡の屋上にも園庭を作りたいと考えています。父兄の方々から出ている問題については、極力要望に応える状況を作りたいと考えています。

保育士から反対意見がでてきているとのことですが、これは内部資料なので、市で決定した事項ではないということをお知らせいたします。保育士に集まっていたり、検討した結果の内容なので、公式に皆さんへ提出する資料ではありませんのでご理解いただきたいと思っております。

【副市長】市長がお話した中で訂正させていただきたいのが、(東4条通りについて) 施設内通路は一般公道ではありませんということです。通り抜けることはできます。(先ほどお話しの中で) 通れませんというお話をしたと思いますので、一般公道ではないという意味でお話ししたということをご理解いただきたいと思っております。

さんのいる親御さんらと、いろいろ話し合った結果でないとまずいのかなと思っているんですよ。それと建物についても、2階建てで屋上にどうのこうのと言っておりますけど、やはり保育所というのは1階建てが妥当だろうと考えています。今の中央保育所のあたりに車が多いと言いますが、地元の人はどこに行けば一時停止しなければならないとか、いろんな状態は捉えている訳ですよ。観光客、外国人は特に、字を読めない人もいるので、そういう人たちが事故を起こしているよと話しているのです。交通量からいけば、あの街のなかなんてほとんど通っていません。だけど交差点は全部一時停止です。そういうことを考えると、よほどの計画を組んでやらないと、その（中心市街地の）周りだけではなくて、街全体の（交通）標識の入れ替えなども考えていかなければならないのかなと。その（中心市街地の）周りだけでどうのこうのと騒がれると、皆さんも「危ない、危ない」というだけの話であって。そういうことを聞きたかったんですよ。

経済部・  
保健福祉部

先日、栄町コミセンで懇談会が行われたときに、市長のお答えの中で「マルシェはあと2年くらいで衰退していく。だから今のうちに総合こども園をここに設置をする」とのお話をされたようですが、その真意をお伺いしたい。

また、道新の情報によると、東4条通の道路幅を狭くしたり、交通整理、規制をしたり（という内容で）、栄町でのお話で言うと道路の真ん中に木を植えてスピードを出せないようにして、朝夕の保護者の送り迎えの時に事故を起こさないようにするというのを、公安委員会と早々に協議を始めるというお話があったようですが、その経過をお知らせいただきたい。

最後に、総合こども園の法律ができればそれに従うとのお話でしたが、それである程度は納得できますが、今の計画の中で特別

【市長】マルシェのお話については、努力をしていかなければ衰退していくと私は申し上げました。努力をしなければ何でもそうですが、今の状況に付加価値をどうやって高めていくのかということです。道の駅のような施設が道内に恐らく70から80くらいあると思います。南富良野町や芦別市にもあり、美瑛町にもあるようです。ですから、それだけの努力をしないと現行の集客は難しいとお話をさせていただきました。

【中心街整備推進課長】東4条通の交通形態のお話しですが、速度を抑えるという考え方が一つあり、そのためにはいろいろと手段を考えなければならぬので現在検討している最中です。2点目は、視覚誘導ということで、目で見える交通対策をするということで、看板や標識を設置するということです。3点目は、歩行者

保育について一切触れられていないのですが、どうお考えなのかを聞きたい。

経済部・  
保健福祉部

中心市街地活性化事業の関係で、マルシェはあれだけ大きな位置づけがされていますが、今の市長の話だと「がんばらないとダメになるのは当たり前」と言われても、栄町で話を聞いたお父さんやお母さんたちは2年でダメになるので、その代わりの施設として総合こども園を置くという理解をしてお帰りになっています。市長の良い方が悪かったのか、聞く側が悪かったのかわかりませんが、いずれにしても中心市街地活性化計画には行政もからんでいる訳ですから、マルシェは大事に、行政も知恵を出して引き続き（集客する）努力をしていくのは、ある意味では行政も力を出していかなければならない問題ではないのかと思いますが。

経済部・  
保健福祉部

地域懇談会には毎回参加させていただいております。こんなに北の峰コミセンに集まることがないのでビックリしていますが、今日はこども園を（中心市街地に）作るのに賛成派か反対派くらいしかいないと思います。今日はその話で懇親会が終わってしま

を守るということで、歩行者用の通路も必要になってくるだろうということ、3点の部分について現在検討しています。中には一方通行という考え方もあります。地域の方や公安委員会との話し合いもありますので、検討はしていますがまだ公安委員会とは話を詰めていません。最終的には、事業主体であるまちづくり会社と協議をしながら公安委員会と話を詰めていきたいと考えています。

【こども未来課長】閣議決定されました総合こども園法案の要綱を見る限り、特別保育については具体的にうたってはいません。現在、富良野市で実施している特別保育については、新たな総合こども園になったとしても、従来どおり行っていきたいと考えています。

【市長】その通りだと思いますが、マルシェの状況を見ても冬の間はお客さんが来ていません。冬のスキー客をうまくマルシェの方に誘導できるような状況づくりが必要だと思いますし、行政も考えていかなければならないと思います。他の道の駅の状況を見ていると、衰退しているのが見えてきています。マルシェの今の状況を維持するためには、さらに新しい物を構築していかなければならないという問題も出てきますので、行政も協力していく状況づくりをしていかなければならないと考えています。

【市長】もちろん北の峰地域も山部地域も東山地域も同じ考え方で進めていかなければならないというのが、私の基本的な考え方です。今年は北の峰地域の観光振興計画を作ります。これは観光だけの問題ではありません。この北の峰地域全体の振興を図って

うと思いますが、私の意見ですが、今後北の峰地区のことについても住民で考えていかないと、まちの衰退もそうですが、北の峰の衰退も進んでいますので、懇談会が終わった後は地域の議題を進めていってほしいと思います。今日の（議題の）自分の意見としては、まちの中に保育所を作るのはどちらかと言えば賛成派です。中央保育所に子ども3人を通わして、便利さ不便さは分かっています。どこに作るのかは別として、お年寄りとおふれあう機会があった方がよいと思いますし、北の峰子ども会もお年寄りとおふれあうことを実施していますので、今日出席された方は各地域に戻りまして、こども園の話題もそうですが、自分の地域の話題で市長と語り合っただけであればと思います。これからいろいろお話があると思いますが、北の峰地域のこともよろしくお願いします。

3点ほど私の意見を話します。

まずは1点目。生々しい話をしますが、所詮お金なんです。経済や行政を含めて、これから将来どうするのかというお金の話だと思います。どう運営していくのかということ。

2つ目は育良です。育てるということ。人は人との関わりで育っていきます。まちが育てるとか市民ぐるみでのお話がありましたが、まさにそのとおりだと思います。やはり人と関わらなければ人は育たないと思うんです。個別には確かにいろんな問題があります。交通の問題などさまざまです。そういったことももちろんあるんですが、大局的な部分でどうなのかということが、まず今必要なのかなと。その中で、個別具体的なことは詰めていき、これから将来どうなるのかということも含めて考えなければならぬと思います。今、人口が減っています。増えたら良いとは私も思いますが。そういった中で、候補地というよりも、いかに

いこうという計画ですので、地域の皆さんと懇談をしながら、どういうものをどのように作って行くのか将来展望をあわせて検討していきたいと考えています。

【副市長】ご意見（として承る）ということによろしいですね。ありがとうございました。

経済部・  
保健福祉部

<p>経済部・ 保健福祉部</p>	<p>子どもたちをどう育てるのかということと、大局的にどうしたら富良野市が発展していけるのかが大事だと思います。個別具体的なことはみんなで知恵を絞ればできてきます。いろんなことの問題解決はできると思うんです。そこに（大局的な立ち位置に）一回立って進めていくのがいいのかなというのが個人的な意見です。</p> <p>もう一つは、議会で採択され請願を受けてこのような懇談会など行われている訳ですが、これは非常に良いことだと思います。初めて出席しましたが、みんなががんばって協力していかなければならないというのが私の想いです。</p> <p>2つほどお願いがあります。</p> <p>1つは、先般新聞報道に出ていた部分の中で、私もスウェーデンに行ったときに、高齢者住宅の1階が保育所という状況を見てきました。お年寄りとお若い人たちが一緒になって、子育てを一生懸命やっている状況を見てきました。まさにそういったものが街の中にできるのだらうと思います。ただし、良い悪いというのは、いずれにしても100%パーフェクトに事業ができるわけではないと思いますから、今までの行政もそうですが、事業を実施して検証するという仕組みを構築していただきたいと思います。少なくとも多くの税金を投入して施設が建てられるので、有効に使われているのかをぜひ検証していただきたい。特に、今回街の中に今のマルシェを主にして、東4条街区の整備をこども園と一緒にやってやるわけです。</p> <p>ただ、富良野だから絶対安心ということはないと思います。昨今いろいろな部分で不用心になっています。ぜひ、園児たちを守るセキュリティだけはしっかりやっていただきたい。孫が麻町保育所に半年ばかりいました。冬に先生たちが水を出すのに、床をはぐって水道（栓）の上げ下ろしをしている状況を見たとき、</p>	<p>【副市長】要望ということで、承りました。</p>
-----------------------	--	-----------------------------

経済部・  
保健福祉部

やはり1日でも早く施設をきちんとしてあげることが、市としても親としても我々地域としても一番願っていることだと思います。要望として申し上げました。

活性化と言いますが、本来老人施設とか保育所は静かなところに建てて、老人施設は景色の良いところに建てるのが一般的ですが、地理的に商業区域の中に建てるというのは合点がいかないところでは。

運動会とか発表みたいなものができるのかという心配もあります。

駅前開発ですが、駅を降りたら整骨屋さんがポツンとあってなんとなく寂しい、虚しい気持ちになる。飲食店の建物の後ろあたりはまだ開発が終わっていないのでは。結局、移転費をもらった人たちは、札幌とかに移転した人も多い。逆に人口が減るのではないのかと思いますが。

【市長】ヨーロッパを視察したときに感心したのは、お年寄りの施設と幼稚園を併設しています。残念ながら今の親たちは核家族で育てている人が多く、そういう状況を考えたときに、お年寄りの知恵を生かす状況を作っていかなければならないと思います。子育ての上では、お父さんお母さんだけの力では、私は育てていけないと思います。それを補完するために、お年寄りの力を借りて育てる。子どもからお年寄りに癒しを与えて、お年寄りからは知恵を子どもたちに授けるという交流が私は必要だと考えています。子育て支援というのは、0歳から18歳までです。一部の年代だけを育てるというものではないと考えています。家庭教育・学校教育・社会教育を合わせた中で、子どもを社会へ送り出すことが望ましい姿だと思います。また、お産の体制も協会病院の産婦人科医が2名と小児科医が3名います。全道的にもこのような体制が整っているところはないです。ですから安心して（子どもを）産んでもらえる体制ができているということです。0歳から18歳までの過程の中で、それぞれみんなが助言する、あるいは伝承できるものを伝えるなど、市民ぐるみで行う必要があると思います。

発表会については、遊戯室が今あるそれぞれの保育所の倍の広さになります。運動会については、観覧席を合わせると狭いですから、富良野小学校まで250mくらいありますが、仮に中心市街地に建てることになれば、グラウンドまで歩いて行ってもらい、雨が降れば体育館を使うようにすることを考えております。

これからの時代は、人に触れ合って勉強するような状況を作

<p>保健福祉部</p>	<p>周囲を柵とか塀をしようと思うんですけど、どのような規模ですか？その場所の周辺で過去に暴力団の事件があり、今後も事件がないとも限らないと思いますが。</p>	<p>る。子どもは国の宝だと思っていますので、みんなで磨き上げていろんな知恵を授けてあげることが大切だと思います。</p> <p>駅前開発については、私もある面ではご質問に同感しています。44軒の該当者がおり、その内の21軒が駅前の地域から転出をしています。残念ながら、そういうことが現実にあったことは否めません。先ほど検証というお話がありました。これからはああいう形は（駅前開発のような形は）やるべきではないと肝に銘じておきます。その地域で定着してそこで将来発展できるような状況づくりができるようなものでなければと考えます。</p> <p>【市長】今のお話の場所は、建設候補地から離れています。富良野に登録されている暴力団員は多くないと聞いています。</p> <p>【こども未来課長】防犯フェンス等のお話がありましたが、仮にこちら（東4条街区）で建設することが決定されて、設計することになりましたら、検証しながら必要に応じてそうした措置も考えていきながら、セキュリティーのしっかりした施設整備を図っていきたいと考えています。</p>
<p>経済部</p>	<p>建設予定地は全部市が買い上げているのでしょうか？個人の家や営業している事業所もあると思いますが。</p>	<p>【中心街整備推進課長】東4条街区の市街地再開発事業については、地権者の同意は得ています。国の事業認可を受けた後に、老人ホームのところから着工していきたいと考えています。その後、個別の店舗については、順次壊してから建てていき、マンション棟、物販・飲食ゾーンを最後に建てていく予定です。完成年度は、平成26年3月ですが、事業認可が遅れているということで、1年くらい伸びそうです。もともと土地を持っている人は、（土地を）再配置して、最終的に所有権を権利変換しながらそれぞれの建物を建てていきます。再配置をして生み出される1,760㎡の土地を富良野市として買わせていただく形になります。</p>



<p>経済部</p>	<p>地権者の許可は得ているとお話ですが、地権者と営業している方が別の場合もあると思います。また、移転することで仕事ができなくなることも考えられる。簡単にはいかない場合もあると思う。地権者と事業者が別で、市からあいさつも話も聞いていないという人がいたので、その辺の対応は丁寧にされているのかを疑問に思っていました。</p>	<p>【中心街整備推進課長】この事業は、富良野市は（中心市街地活性化）基本計画を立てていますが、ふらのまちづくり会社が事業主体となって事業を進めています。（その話は）おそらく店子さんの話だと思いますが、そこにつきましては、ふらのまちづくり会社と家主が話をして同意を得ていると聞いております。ですから家主さんから店子さんへ話す形になるので、そのことについては行政としてはタッチしていません。あくまでもまちづくり会社が交渉をして、再配置などを検討しているということです。</p>
<p>経済部</p>	<p>前の質問と似ているんですけど、実際に店舗に行って話を聞いたんですけど、立ち退かないという声もあるのですが、その辺はどうなっているのでしょうか？</p>	<p>【中心街整備推進課長】まちづくり会社の方からは、権利調整はされたと聞いています。店子さんが動かないという話は・・・（話をさえぎられる）</p>
<p>経済部</p>	<p>店子さんじゃないですよ。多数いるんですけど。地図もこれは正規じゃないという話を聞きました。違う地図が出回っていますよという話も聞きましたけど、その辺はどうなんでしょうか？</p>	<p>【中心街整備推進課長】どの話をされているのか、ちょっとわからないですけど、今ここに図面で示している部分の話ですから、その中では、今たとえば相続関係で土地に手を付けられないという方は確かにいらっしゃいます。ただ単純に「動きたくない」という話は聞いておりません。あくまでも今の段階では相続が手間取っていて、後にしてくださいという話は聞いています。</p> <p>【副市長】その件については、まちづくり会社とこういう計画を立てていますから、この計画を進めていくという形になったときには、どうしてもそういう支障が出てくる部分があります。まちづくり会社としては、これ（計画）が可能だという話がされたということで動いている、というふうに聞いているということです。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>2階に園庭を造るということですが、どのような園庭を造るの</p>	<p>【中心街整備推進課長】1階の建坪が約860㎡で、それに合わ</p>

<p>保健福祉部</p>	<p>でしょうか。</p> <p>この間の父兄への説明会の際の話では、「園庭を広くしてほしい」という話があったんですよ。屋上に作ってほしいという会話ではなかったと思います。子どもたちが走れるような園庭が欲しい、なおかつ遊具ができるのかということだったと思うんですけど、それを理解した上で屋上に造るということなのでしょうか？</p>	<p>せた形で平面的に面積を取りたいという考え方です。子どもが遊ぶ部分なので、工夫は必要だと思います。例えば、土を使うとか緑のあるような園庭だとか、それについては保育士と詰めている最中です。屋上で取れる面積は約800㎡と考えています。</p> <p>【市長】過日の父兄との話し合いのときには、600㎡（の園庭）では非常に狭くて園児同士がぶつかるのお話がありました。それでは、もう少しゆとりのある遊び場や遊具も必要になり、園庭を広げるためにはどういった工夫ができるのかということで、屋上の800㎡の場所に設置してはどうかという形になりました。2階には遊び場やプールだとかを設置したりエレベーターも設置しますので、園庭を下と上とで有効に使えるよう、何を下、または上に設置するのかはこれから相談して決めていく状況になると思います。それだけ面積が取れるということでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>お年寄りとふれあいを持つと言っていたんですけど、隣にできるのは介護老人ホームですよね。その方たちとどのような交流をするのか具体的に1、2点あげてほしいんですけども。</p>	<p>【市長】介護施設の方々に癒し的な役割を子どもたちにしてもらうことが一つ。もう一つは、単身の高齢者が市街地に200人くらい住んでいます。こういった方々が買い物をした後に、こども園に寄って、お年寄り自身も癒されるし、子どもを育てた経験を生かした中で、教えることもたくさんあると思います。これも一つの交流の大きな役割を果たす状況になるのではないかと思います。私は、（過日の話し合いでは）介護の施設だけに限定してお話はしなかったと記憶しております。世代間の交流ということで、これからの教育上でも必要だと思います。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>買い物の後に保育所に寄っていただいて、世代間交流していただく。もしくはお年寄りの知恵を子どもたちに伝えていくという</p>	<p>【市長】過去に市民部長をしていたときに、保育士さんたちと一緒に研修をし、園児たちと食事をしたことがあります。実際に体</p>

<p>保健福祉部</p>	<p>のは、お話としては理解できます。しかし、私の経験から言うと現実的には絶対に無理です。保育士のみなさんは、親から子どもを預かった以上は、お返しをするまで責任を持って預かるわけです。そこに、いつ、誰が、どういう形で来るかわからない、ましてや買い物後に荷物を持って来る。たとえば、食べ物も含めて。いろいろなものを持って保育所に訪ねてこられても「はいどうぞ、お待ちしております」ということにはならないと思います。こども未来課の課長もいますから、どういう判断をされて、今の市長の発言になったのか、経緯を聞きたいと思います。</p>	<p>験しないと実態は分からないこともあると思います。仮にそういう施設が建てば、お年寄りが増えることも多いと思います。仮に買い物で帰りに寄った場合は、その荷物を置く場所を作らなければなりません。園児と多くのお年寄りが接する機会を作ることが主眼であるということをご理解いただきたい。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>デンマークに行ったとき、お年寄りと小さな子ども、そしてお母さんが交流している姿を見てきました。自宅からお母さんが乳母車に子どもを乗せてスーパーに行く途中に、高齢者マンションに寄る。そのマンションにいるお年寄りが、お母さんの買い物が終わるまで乳母車を預かって子どもの面倒を見ている。そういう交流はありうると思うんです。でも、保育所に初めて来るとこのどなたかわからない人が自由に出入りするの、荷物の置き場所があっても私は危険だと思います。今、市内の小中学校でさえ、自由に市民が学校を訪ねていろいろなことはできないでしょ。いつ来るかわからない市民のみなさんを小中学校だって間口を広げて待ってはいませんよ。ましてや保育所の子どもは、大人に声をかけられたり、興味のあるものを見せられたりしたら、みんな着いていきますよ。そんなことは、私はするべきではないと思います。これは私の意見ですけども。これは多くの意見でもあるのではないかと思いますよ。</p> <p>その中で、そういう状況を作る努力を、父母も子どもたちも先生も地域もやるということが必要じゃないですかということで</p>	<p>【副市長】常に（訪問者が）来たらセキュリティーができないのではないかとということですが、市長が話したように、交流をするということが必要ということで、それがのべつ幕なしがいいのかどうかというのは検討の余地があるというふうに思います。</p> <p>【副市長】意見としてお伺いします。</p>

<p>保健福祉部</p>	<p>すよ。それが（交流するのは）非常に厳しいということがわかったんですから、わかったという土台に立って、じゃあ何をするかという次のステップの方が私は大事だと思います。</p> <p>確かに、交流することは大事なことだと思いますが、小さい時はすぐに熱が出たり感染症の問題もあるので、計画的に交流するなら良いが、常時基準もなく人が出入りして交流するのは不可能だと私は思います。北欧の方は、保育所とお年寄りの施設が一体になっているのはわかりますが、逆にイギリスやフランス辺りでは、小学校と道路挟んで必ず隣に保育所があり、別に（作為的に）交流しなくても、大きくなったら隣の学校に行くんだよという（意識付けなど）、養育に十分効果があるということを知りました。いろんなケースがあるのだと思います。</p>	<p>【副市長】ありがとうございます。意見としてお伺いします。</p>
<p>経済部</p>	<p>下御料・中御料で、早くから都市計画の線引きがなされて、あるいは、平成元年には大雪リゾートの指定をいただきました。その間いろいろな部分の中で、農業を主として頑張ってきましたが、農業政策の恩恵に被れない地域です。例えば、土地改良するにしても補助金を受けられない。農地を転売したくても農業委員会の斡旋にのせられない。いろんな部分での控除が取れない。先輩たちは80歳を超え、私も60歳半ばになりますので、いつまでも農地を農地として守っていけないという状況にある地域であるということは加味していただきまして、そんな部分で都市計画の線引きをしたときにも、リゾート法の指定になったときも、若干の地域説明はありましたが、地元の声が入らないまま今に至っている。この事実を改めて認識していただき、（今の）市長になってからいろんなことで緩和はしていただいておりますが、この土地を開発だけでなく有効に活かしていく道筋を、ぜひ今回</p>	<p>【副市長】要望として承ります。</p>

<p>経済部</p>	<p>の計画の中に盛り込んでいただくようにお願いします。</p> <p>北の国から30周年、スキー場50周年という部分で、市民が優待券を持ってスキー場にきていただきました。人の雇用についてですが、今ホテルというのは地方から半分の人を雇用しています。雇用の体系は契約社員です。必要なときはいるが、必要でないときはいない。実質、地元から雇用をしたいが、雇用できない。いろんな部分の流れはありますが、事業主としては一戦で(働いて)いた女性も結婚し、子どもを預けて安心して仕事に復帰してほしい。今まで出てきた意見の中で考えていただきたい。自分の親も年を取ると、病院に入る、痴ほうになるなど看護にかかる人件費も必要になる。結婚したら親は4人になり、子どももいる。職場が離れたところにあって燃料が上がって、交通機関も時間がかかるのであれば、いろんなことが起きてくる。時は金なりと言いますが、今の進み具合と雇用体系では、職場の近場に家があればいろんな部分で回っていくと思います。人口は減っていきます。新幹線が停まる街でさえも商店街は無くなります。事業主としては、地元で育て結婚してここに根を張ってほしいと思います。そのためには、条件を改善していかないと根は張っていただけないし、雇用の部分の単価も大変厳しいです。そういう全体的なバランスを考えていただきたいと思います。意見として(発言しました)。</p>	<p>【副市長】ありがとうございます。</p>
<p>経済部</p>	<p>観光客が富良野に着いたら駅の前で必ず写真を撮りますよね。撮った写真を持って帰って富良野を紹介したときに駅が古くなっているので、いつも寂しい思いをしているとみています。九州へ旅行した時に、富良野って「北の国から」のイメージが強く、「水をああいうふうに汲んでるの」とか「おしっこしたら凍るん</p>	<p>【市長】前の意見も含めて、これからの富良野の課題の取り組みだと認識しています。今、環境関係で、起業的なものを起こせないかということで、北海道大学と経済産業省の外郭団体と話し合いをさせていただいています。その一つは、化石燃料ではなく、固形燃料を使って農家のハウスの加温的なものに夏冬活用でき</p>

ですか」とか、素晴らしいホテルの支配人に言われたんです。悔しくて、「高輪プリンスホテルと同じくらいのホテルがあります。ホテルやペンションもたくさんありますから、いつでもいらしてください」と富良野をPRしました。支配人は謝ってくれましたけど。市とJRが手を組んで、もう少し良い駅を考えていただけないでしょうか。駅を見て本当に寂しい思いをしています。

ないかという検討をしています。これが企業化に向かっていけば、何らかの起業の推進ができるのではないかと考えています。もう一つは、富良野にはこれだけ木材があるので、将来的には木材からエタノールが取れないかということで、北海道大学と提携しながら検討させていただいております。近い将来にそういう状況ができるのであれば、起業的なものもできると思います。また、もう一つは、試験的に小水力の水車を麓郷の白鳥川に設置、成功する状況であれば一部で電気の供給ができるようになります。例えば、山部の用水路に小水力水車を何台か回して、環境と観光のスポットを当てるようなことも検討しています。

正規職員と契約社員の問題については、日本中で問題になっています。富良野においても、企業的なものをどう作るかが大きな課題だと思います。企業を誘致するということは、大きな企業か、小さな企業でも将来性があるのかなどあわせて、今年の4月から商工観光室長という人事配置をしました。これから行政としての役割を果たすために部長職を置きましたので、すぐできるものや中・長期になるものをあわせながら、行政としていろいろと考えていかなければならないと思います。

駅については、倉本先生から「いじるな」「あの原型を崩すな」というお話がありました。(ただ、)時代の流れですから、今お話があったことも含めて検討する時期に来ていると考えています。

経済部

フラノマルシェは観光客で成り立っていると思いますが、高規格道路ができて、観光客が素通りする可能性があります。このままいくと、やはり観光客も減ってマルシェの維持も難しくなるという懸念もあると思います。それなのに、その横にこの総合の施設を造る必要があるのか。それならば、観光客が富良野に来てお金を落としてくれることによって富良野は活性化していますの

【市長】旭川十勝道路の役割は4つあります。1つは農産物の搬送道路として、2つ目は防災道路、3つ目は救急道路、4つめは観光道路ということで考えています。素通りするとのことのお話ですが、そうならないような魅力あるまちづくりをしなければなりません。旭川市から占冠村までつながるのは、恐らく20年くらいかかると思いますので、その間に付加価値を高めるようなことを

で、フラノマルシェをもっと生かすための観光客向けであったり、そういう施設を作った方がいいのではないかというのが一つ。

移住者の目から見ますと、せっかくこの自然の豊かな富良野に来て子どもを育てるのであれば、少しでも自然のあるところで育てた方が、移住者から見て、もっと富良野に住みたいと思うような場所になるのではないかと思いますかどうか。

経済部

実際に、観光客がどこを見るのかというと、上富良野町や中富良野町が一番多いです。富良野市はその道筋にあるから寄って来られている部分も多々あると思います。マルシェだけが孤立してしまっ、そこに何か付随するものができなければ、観光としての魅力が少ないのではないかと思いますんですけど。

作って行かなければならない。マルシェばかりでなく、77ヘクタールの範囲内で拠点づくりする必要性があると考えています。

【市長】富良野の観光は、当初は分散型で計画していました。例えば、チーズ工房とかワインハウスだとか景色を楽しんでもらう観光です。物を売るというだけではありません。麓郷にある共済農場の上の方は、7月下旬のラベンダーとして富良野近辺で一番遅く咲きます。時期的なものもあわせて、観光のプランを作って売り込み、(観光客に)選択してもらえような状況づくりが必要です。もう一つは、富良野美瑛広域観光推進協議会があり、それぞれの市町村の魅力を作ってもらって、観光客に選択してもらう。努力しないまちは、選択してもらえない場合が出てきます。例えば、美瑛から富良野を素通りして南富良野に行ったり、富良野だけに来ることもあります。市町村を中心とする観光協会が、一丸となって努力をすることで、富良野圏域の観光の推進や向上できるような素材づくりにもつながると考えてます。(これまで)分散型が進められてきた観光も、これからは集約型に変えていく必要性もあると考えております。

【副市長】まちづくりに対していろいろと意見を持っておられるようなので、市長と話をする機会を作っていただくなど、普段も(懇談会以外でも)ご意見をいただきたいと思います。

総務部

私を感じるに、行政からの情報が市民に行き届いていないので

【市長】懇談会は意見交換という大義で行っています。今の質問

はないのかと思っています。この問題についても、道新の報道で知ったので、しっかりと情報開示をしていただきたい。駅前開発の時も、その時私はここ（富良野）に住んではいみせんでしたが、「計画を聞いて、その計画について議論できるのだろうと思っていたら、それはもう決まったことだから一切できません」。商店街のある方はこう言っていました。今回も同じようなことにならないことを切に願っています。保護者の説明会も傍聴させていただきました。そこでは、かなり細かい説明があり、行政も真摯に対応していました。それを受けて、懇談会に参加しましたが、こういう問題がある、こういう良いところがあるなど両方を提示してほしいです。今回の説明は良いところしか言っていないです。しっかりと情報を開示して市民のみなさんに判断を仰いでほしいと思います。

これから懇談会が続きますが、市民から出た質問や疑問をまとめて、それをフィードバックしていただく場面があるのか。議会としては「市民と話しなさいよ」で終わっていますが、地域懇談会で説明し意見をもらいました、で終わってしまうのか。昨今のパブリックコメントは、意見が出ても2、3件の話です。それが市民から広く意見を拾い上げたことにはならないと思いますので、決定するまでの過程を教えてください。

この場で答えを出してほしいことではありません。広く市民の要望を聞くことが大前提だと思います。いろんな形で要望や意見を吸い上げてこういう計画になりましたと議会に諮り、承認してOKとなる。ネーブルタウン構想の中で、温浴施設がダメになったから総合こども園をその場所に入れるという報道から、そんな馬鹿な話はないでしょうということになったと私個人は感じています。多分、広く一般の市民も同じ感覚を受けて、6,000名

は答えを求めているという理解をしています。今、答えを出してしまうと、他のところを実施しなくても良いという状況になると思います。各界・各層、地域住民と話し合いをして、総合的に判断して議会の要求に対して答えていかなければならないと考えております。

【副市長】ご意見として（承って）よろしいでしょうか。

【市長】温浴施設の替わりということは、今までの会場でもそういうことは言うておりません。まちづくり会社で計画していたのはアトリウムということで出てきています。アトリウムは内部検討した結果、アトリウムではなくこども園ということで再度まちづくり会社に話をしたということです。

総務部



<p>の署名になったと思います。30年、40年後に現役・子育て世代、次の世代を担う子どもたちが良かったと思えるまちづくりを進める上で、あまりにも議論が拙速すぎる。6月中には結論を出し、議会の承認を得て6月中に事業申請したいという話も聞いています。この話が出てから何カ月で結論を出すのか。時間をかければ良いということではないですが、市民の意見を吸い上げて市政に反映していただければ幸いです。</p>	
--	--